

2021年12月20日

各 位

**第88回皇后杯 ENEOSサンフラワーズが9連覇達成！
～大会最多26回目の優勝～**

ENEOSサンフラワーズ（ヘッドコーチ：佐藤 清美）は、12月19日（日）に行われた第88回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会決勝戦におきまして、デンソーアイリスに86対62で勝利し、自身の最多記録を更新する26回目の優勝、大会記録更新となる9連覇を達成しましたので、お知らせいたします。

決勝戦では、渡嘉敷選手の先制シュートを皮切りに、第1クォーターで1点リードを奪うと、前半だけで4本の3ポイントシュートを決めた林選手、梅沢選手、高田選手の活躍も相まって、第2クォーター以降着々と点差を広げました。試合を通じて、フル出場し、チーム最多となる20得点をあげたキャプテン岡本選手を中心に、高い集中力で主導権を渡さずに勝利を収めました。

今大会活躍した選手に贈られるベスト5に、林咲希選手（初受賞）、渡嘉敷来夢選手（11回目）、岡本彩也花選手（2回目）が選出され、3ポイントシュートを決め攻守ともに活躍した林咲希選手が、最も名誉ある大会MVPを受賞しました。

ENEOSサンフラワーズは、第23回Wリーグとの2冠をめざして戦ってまいりますので、引き続き、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

<試合結果>

日程		対戦チーム	スコア
2021年12月15日（水）	準々決勝	シャンソン化粧品 シャンソン Vマジック	92－64
12月18日（土）	準決勝	トヨタ紡織サンシ ヤインラビッツ	79－62
12月19日（日）	決勝	デンソーアイリス	86－62

<コメント>

	<p><u>佐藤 清美ヘッドコーチ</u> 大会記録の9連覇がかかった今大会へのプレッシャーはこれまで感じたことのない程でありましたが、選手達はその重圧を跳ね除け、逞しく戦ってくれました。目標に向かい日々努力を続けてくれた選手・スタッフ全員のチームへの献身の結果です。再開するWリーグでも信条である走るバスケットボールを徹底させ2冠を目指します。今大会でのご声援誠にありがとうございました。</p>
	<p><u>岡本 彩也花キャプテン</u> 皇后杯でチームの力を最大限に発揮し優勝できて率直に嬉しいです。大会を通して走るENEOSのプレーが出来ました。苦しい時期を乗り越え、みんながメンタル面でも強くなって、悪い時に下を向かずに戦うことが出来ました。まだまだこのチームは強くなります。Wリーグに向けまた修行して2冠達成を目指します。応援本当にありがとうございました。</p>
	<p><u>林 咲希選手</u> 9連覇に貢献出来たこと、そしてこのチームメイトと共に戦えたことがなにより嬉しいです。 渡嘉敷選手、岡本選手がチームを引っ張ってくれ、自分たちはのびのびとプレーすることができます。そして後輩達の頑張りからも刺激をもらっています。これからもチーム一丸となり、また練習を頑張りたいと思います。ご声援ありがとうございました。</p>
	<p><u>渡嘉敷 来夢選手</u> 沢山のご声援、本当にありがとうございました。 前回大会での怪我もあり私自身、皇后杯にかけてきた想いが強かったので、とても嬉しい優勝となりました。自分たちは一試合一試合、成長していくチームです。皇后杯ではチームとして成長した姿をお見せできたかなと思います。現状に満足することなくWリーグ優勝に向け一人ひとりが努力を重ね2冠を狙います。引き続き熱いご声援を宜しくお願いいたします。</p>



皇后杯を授与され笑顔あふれるENEOSサンフラワーズの選手



試合中の意思疎通を図る選手

以 上

■皇后杯(女子)ファイナルラウンド/国立代々木競技場第二体育館(東京都渋谷区)

ENEOSサンフラワーズ

		86		W55		62		12/19(日)
				19日 15:00				
62		W53		79		70		W54
18日 17:00				18日 19:00		53		12/18(土)
58	W49	63	92	W50	64	71	W51	43
15日 17:00			15日 19:00			16日 17:00		55
								W52
								16日 19:00
1	2	3	4	5	6	7	8	12/15(水)、16(木)
三菱電機 コアラーズ	サンシャインラビッツ トヨタ紡織	サンフラワーズ ENEOS	シャンソン化粧品 シャンソンVマジック	デンソー アイリス	日立ハイテク クーガーズ	アンテロープス トヨタ自動車	富士通 レッドウエーブ	
W	W	W	W	W	W	W	W	